

研究・調査報告書

報告書番号	担当
364	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
<p>A population-based study on binge drinking among elderly Brazilian men: evidence from the Belo Horizonte and Bambui health surveys.</p> <p>一般住民ブラジル人男性高齢者における大量飲酒に関する検討</p>	
執筆者	
Prais HA, Loyola Filho AI, Firmo JO, Lima-Costa MF, Uchoa E.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Rev Bras Psiquiatr. 2008 Jun;30(2):118-23. Epub 2008 Apr 28	
キーワード	
一般住民、高齢者、男性、ブラジル人、大量飲酒	
要 旨	
<p>目的： 一般住民男性高齢者(60 歳以上)における大量飲酒の割合と大量飲酒に関わる要因についてブラジル人を対象とした 2 集団において検討する。</p> <p>方法： 南ブラジルの人口 440 万人の大都市 Belo Horizonte から無作為抽出された 685 人、人口 1.5 万人の Bambui から無作為抽出された 643 人を対象とした。大量飲酒 (過去 30 日間に一回 5 杯以上の飲酒) を従属変数とした。社会的地理的要因、社会ネットワーク、健康状態、健康サービスの利用を独立変数とした。</p> <p>結果： 大量飲酒の割合は大都市 Belo Horizonte では 27% であり Bambui における 13.7% より多く見られた。多変量解析における検討では自己申告による健康状態の不良が大量飲酒と負の関連を認めており、これは 2 集団で共通する唯一の結果であった(相対危険度 RR)0.62;95%信頼区間 (CI)0.45-0.85, RR0.57;95%CI0.40-0.83)。一方で以下の 2 点の相違が認められた。①大都市 Belo Horizonte では大量飲酒は 8 年以上の高学歴(RR=1.55;95%CI1.07-2.26), 四肢機能不全(RR=0.12;95%CI(0.02-0.83)との関連が認められた。②Bambui では大量飲酒は離婚や離別(RR=2.49;95%CI(1.55-3.99)との関連が認められた。</p> <p>結論： 高齢者において、同一国内においても大量飲酒の割合と大量飲酒に影響を与える要因の違いが認められた。この理由としては社会文化的な要因が影響すると考えられる。</p>	